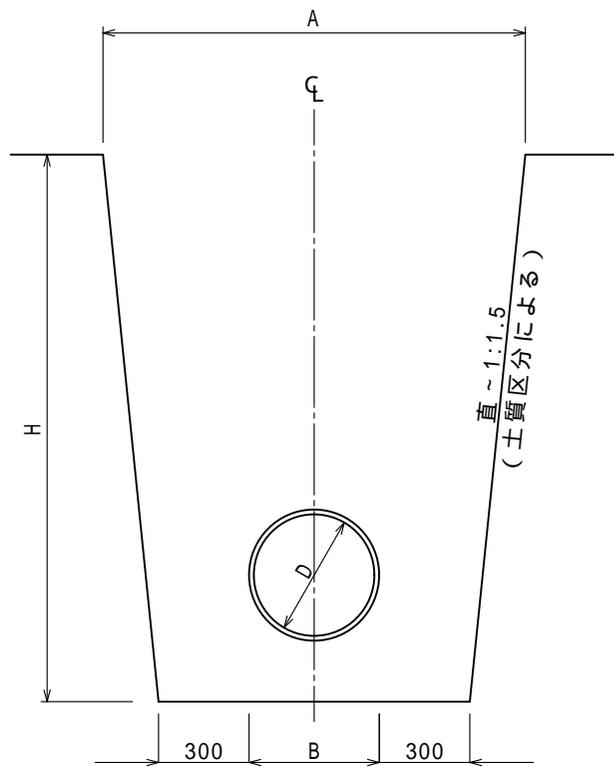
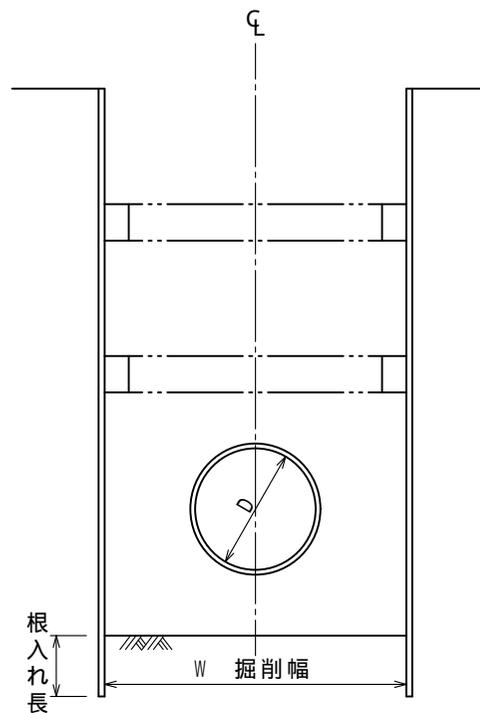


掘削
素堀の場合



掘削
軽量鋼矢板及び鋼矢板等使用

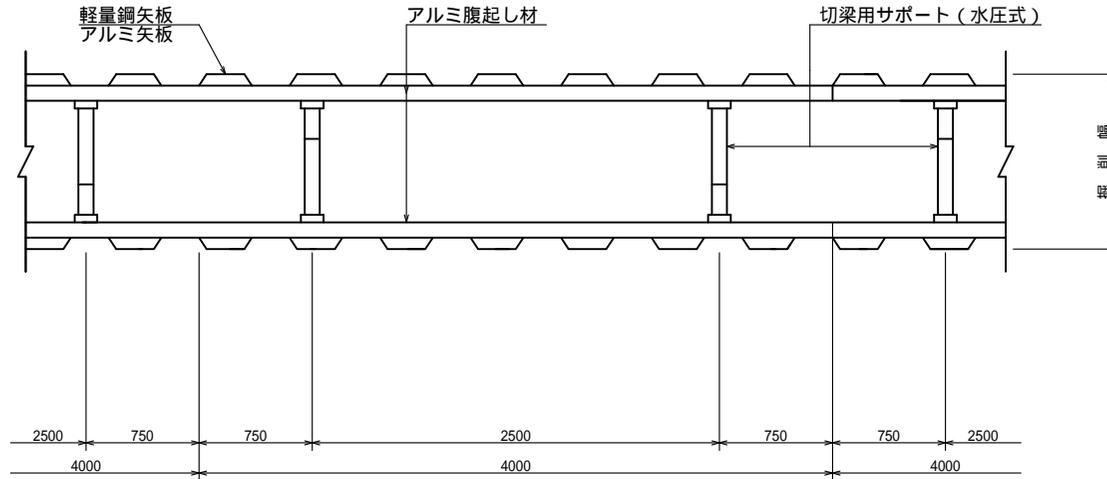


備考

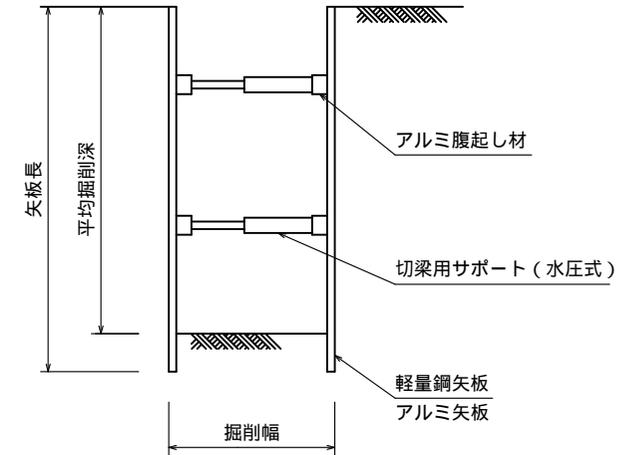
- ・掘削及び埋戻しは、機械施工を原則とする。
- ・埋戻しは、一層厚20cm毎の転圧とする。
- ・埋戻しの管頂30cmまでは、人力転圧を併用する。
- ・土質条件と掘削深によって適切な法勾配を確保すること。

* 上記作業について各道路管理者と協議し施工方法を決定すること。

平面図



断面図



平均掘削深 (m)		段数	矢板長
1.50	h	1	2.0m
1.80 <	h	1	2.5m
2.00 <	h	2	2.5m
2.30 <	h	2	3.0m
2.80 <	h	2	3.5m
3.00 <	h	2	3.5m
3.30 <	h	2	4.0m
3.50 <	h	3	4.0m

・矢板材料については、安全を確認できる材料を使用するものとする。